

津山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国際英語論Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0107		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(情報システム系)		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	『技術英語：実践的技術英語テキスト：初級～中級レベル』（電気書院）				
担当教員	ランボー エリック				
到達目標					
<p>学習目的：初級技術英語の語彙、発音、文法、リスニングを学ぶ。本授業では学生がより速く正確に英文を理解できる力をつける。また、250語程度の英作文ができるようになることをめざす。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</li> <li>2. 標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係を理解できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識し、基本的な強勢を正しくできる。</li> <li>3. 技術英語の基本的な文章を理解できる。</li> <li>4. 適切な文法を使って、技術的な題材についての基本的な英作文ができる。</li> </ol> <p>◎日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。</p>					
ループリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできない。	
評価項目2	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。	
評価項目3	本文の要旨を英語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語でまとめることが最低限できる。	本文の要旨を英語でまとめることができない。	
評価項目4	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが十分できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。	
評価項目5	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが十分できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが最低限できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができず、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>一般・専門の別：一般・国際コミュニケーション推進プログラム</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択</p> <p>基礎となる学問分野：英語学・言語学・英米 / 英語圏文学</p> <p>学科学習目標との関連：本科目は「④教養豊かな実践的人間力の養成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。</p> <p>授業の概要：初級技術英語の語彙、発音、文法、リスニングを学習する。初級技術英語の英文を読む。さらに定期的に英語でエッセーを書く。</p>				
授業の進め方・方法	<p>授業の方法：本科目は後期に開講する。4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）全てのスキルの向上を目指してアクティビティーを行う。</p> <p>成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50%）。定期試験の結果に加え、平素の課題、小テスト、発表など（50%）を総合して成績評価をおこなう。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。</p>				
注意点	<p>履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが、これ以外に30単位時間の学習が必修となる。</p> <p>履修上のアドバイス：予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。ノートを準備して授業のノートを取り、頻りに授業の復習をすること。本授業では辞書は必須である。（可能であれば、電子辞書が好ましい。）</p> <p>基礎科目：英語I（1年）、英語表現I（1）、英語II（2）、英語表現II（2）、英語III（3）、英語IV（4）</p> <p>関連科目：国際英語論I（4）、英語V（5）</p> <p>受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。教科書・英和辞書を持参し、予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので、必ず参加すること。</p> <p>遅刻について：授業開始20分すぎでの入室は欠課扱いとする。</p>				
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	

後期	3rdQ	1週	●ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意） Lesson9	
		2週	Lesson9-10	
		3週	Lesson 1 0	
		4週	Lesson11 エッセイ提出	
		5週	Lesson12	
		6週	Lesson12	
		7週	まとめと定期試験対策	
		8週	●後期中間試験	
	4thQ	9週	●後期中間試験返却と解説， Lesson13	
		10週	Lesson13-14	
		11週	Lesson15 エッセイ提出	
		12週	Lesson16	
		13週	Lesson16	
		14週	まとめと定期試験対策	
		15週	●後期末試験	
		16週	後期末試験の返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	小テスト	課題	合計
総合評価割合	50	0	0	0	25	25	100
基礎的能力	50	0	0	0	25	10	85
専門的能力	0	0	0	0	0	10	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	5	5